

固体地球科学

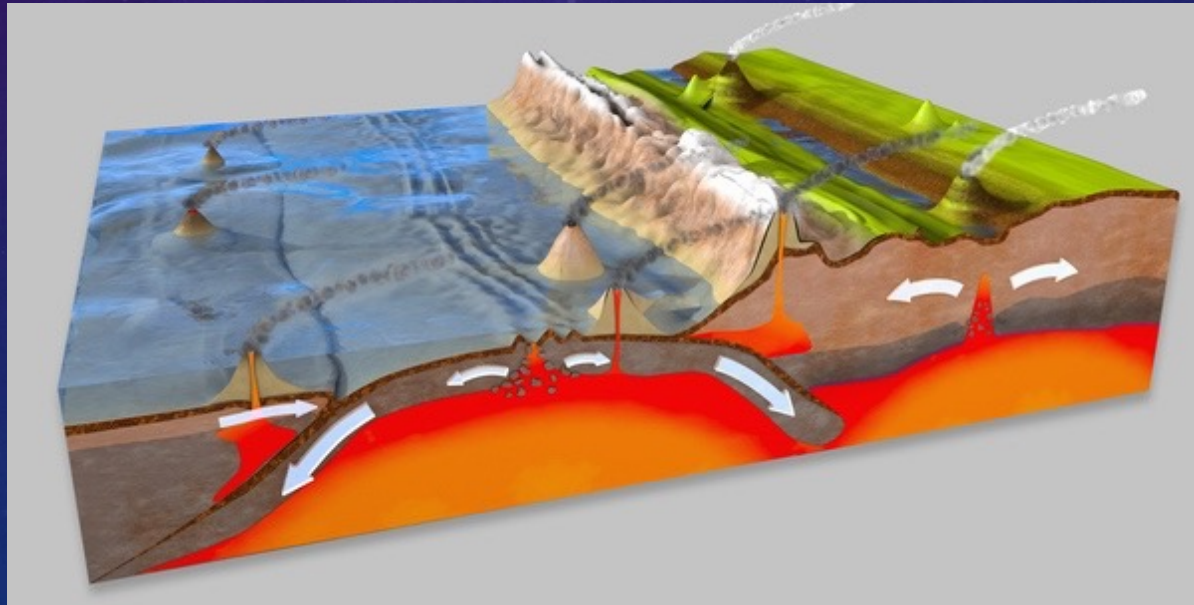


NASA

研究対象：

地球内部の構造・物性

地殻変動のメカニズム (地震, 火山噴火…)



固体地球科学



NASA

研究対象：

地球内部の構造・物性

地殻変動のメカニズム（地震, 火山噴火…）

研究手法：

地球を見る

→

観測・野外調査

現象を理解する

→

実験・理論

モデル化・予測

→

数値シミュレーション

固体地球系の学部講義



NASA

基礎科目

弾性体力学 (3回生前期)

弾性体の変形, 震源の力学

地球物性物理学 (3回生後期)

固体地球の物質科学と力学物性

地球物理学のためのデータ解析法 (3回生前期)

多変量時系列解析, 逆問題の解法

専門科目

固体地球物理学 A (3回生後期) など

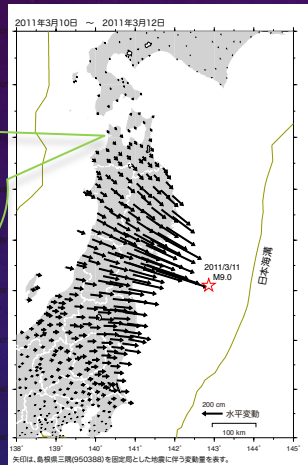
*地球物理学分野の他の科目はもちろん,
地質学鉱物学分野や他系の講義も積極的に履修しよう

前期：課題演習DA

水曜日3・4限(4課題各3週)

1 測地：GNSS観測とデータ解析、
衛星重力データの解析

これを自分で
やってみよう！



2 活構造：地質・地形、岩石力学実験



3 地震：地震波を用いた震源決定(計算機)

これを自分で
やってみよう！



4 地球熱学：地温測定



後期：課題演習DC 水曜日3・4限，1課題選択

「重力観測で桜島火山を見る」

- ・ 桜島火山で重力値を自分で測定
- ・ 観測・データ処理・モデル構築
- ・ 必要に応じて輪読・プログラミング



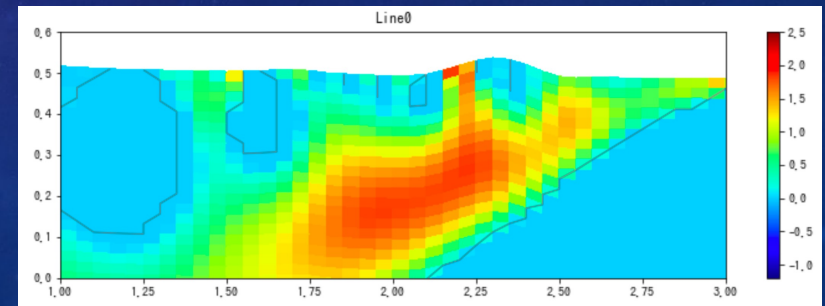
「マグマから噴火まで」

阿蘇山・別府

電磁氣的解析・熱的解析(写真)
重力異常や重力偏差の解析



阿蘇山火口赤外・可視映像

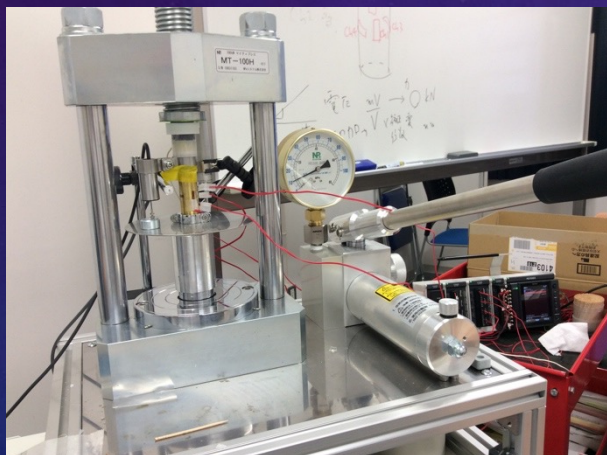


インバージョンによる磁化構造推定

「大地の変動を見る」



活断層露頭観察(淡路島)



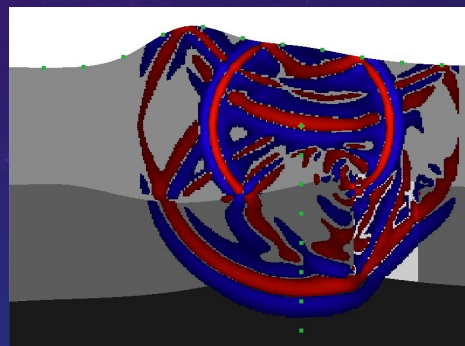
岩石力学実験

他に偏光顕微鏡観察、
強震動の観測と解析 など

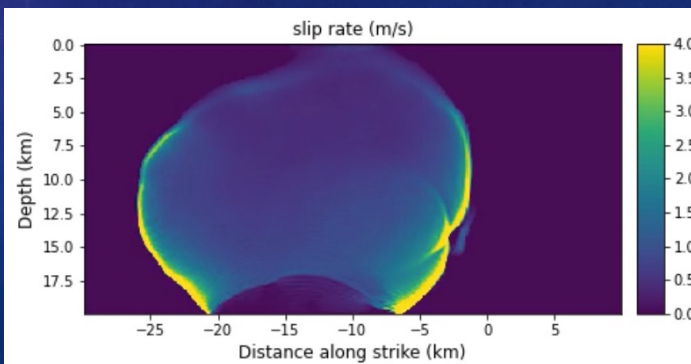
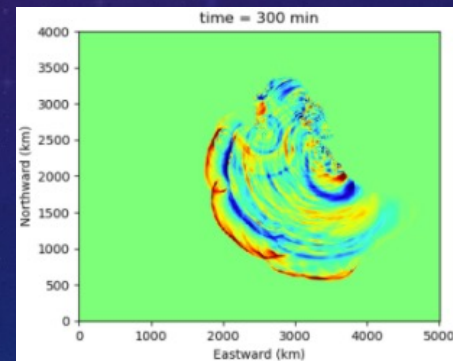
「計算固体地球物理学」

- ・ 有限差分法, 有限要素法, スペクトラル要素法といった数値計算の代表的な手法についての勉強
- ・ 熱伝導, 津波伝播, 地震波動, 動的断層破壊などのシミュレーション(プログラムを自作)

地震波動



津波伝播



断層破壊
の伝播

4回生：課題研究T3

研究室(指導教員)を選択, テーマを設定し, 自ら工夫しながら研究を進める. **全てにおいて自主性を尊重!**

前期: 研究室ゼミ・固体系全体のゼミに出席
テーマ決定・論文を読み発表・研究に着手
(大学院入試準備・就職活動)

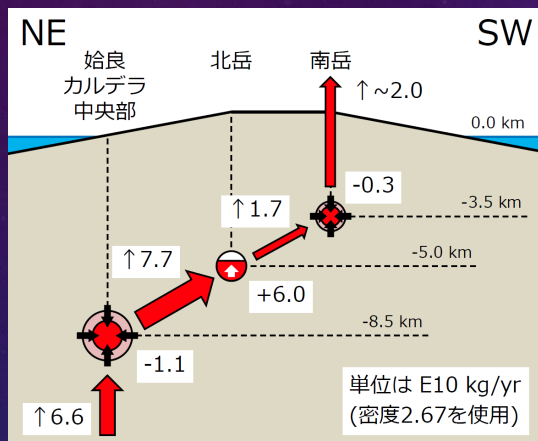
後期: 研究室ゼミで発表
固体系ゼミで中間発表(10-11月頃)
最終発表(2月10日頃)・卒業論文

分野紹介に続く...

測地学講座

重力観測とそのモデル化

- 火山内部マグマ移動 (桜島・阿蘇山など)
- 氷河質量変動 (南極・アラスカなど)
- 地下水の流動



地殻変動

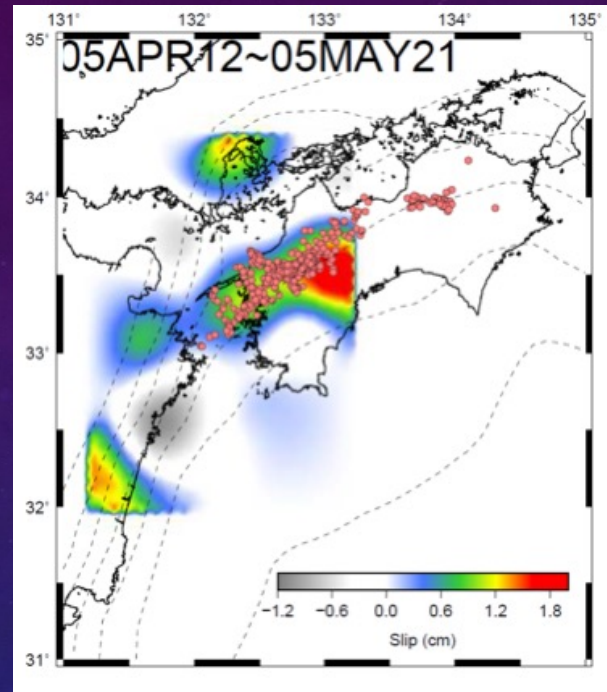
- 観測・モデリング
- 沈み込み帯
- 日本周辺

データ同化

変数



データにシミュレーションをあてはめる



GNSS観測による
スロースリップ

活構造学講座

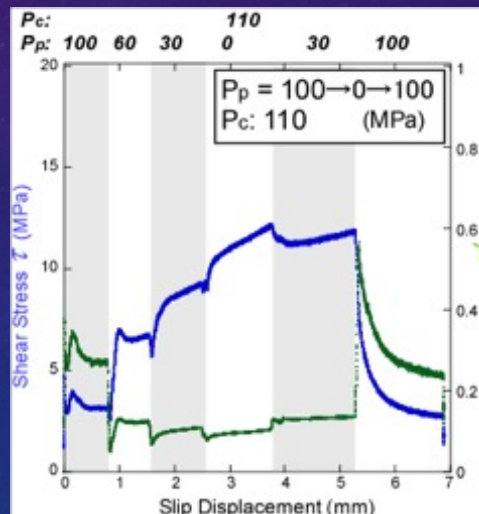
高温高圧実験による、地球内部の
破壊・摩擦・流動物性解明

実験試料に生じた断層



1 万気圧、700°C
試料直径 8 mm

岩石の力学物性



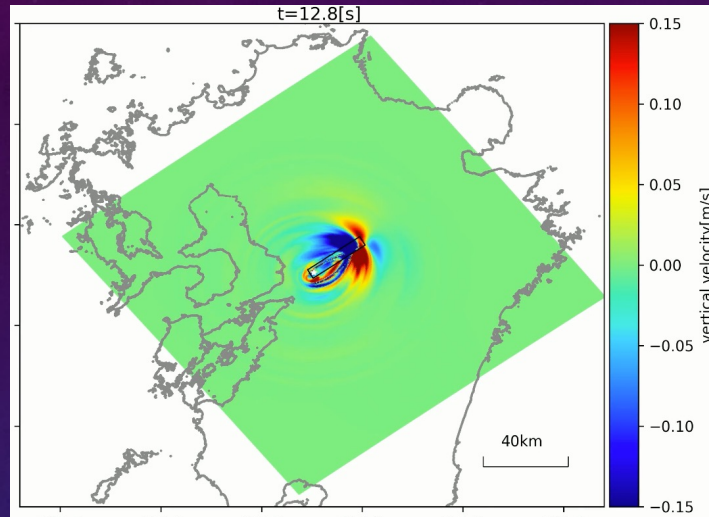
摩擦実験データ



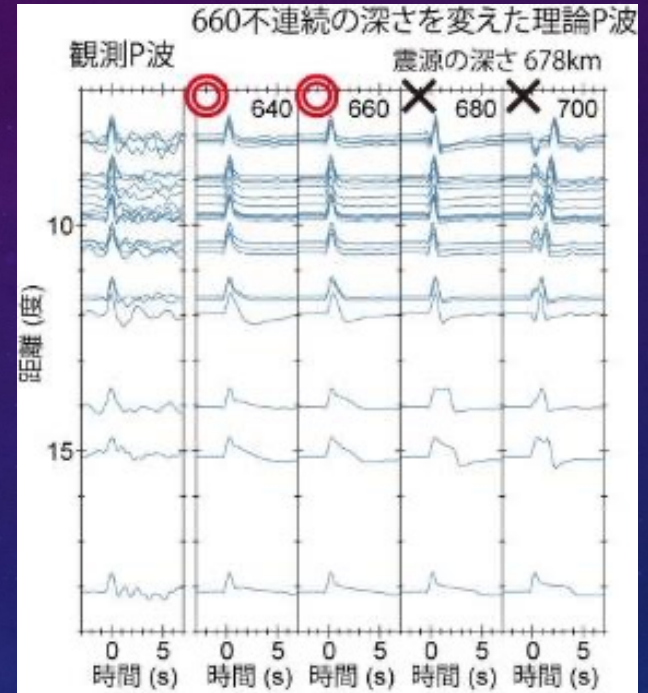
高温高圧変形試験機

地震学講座

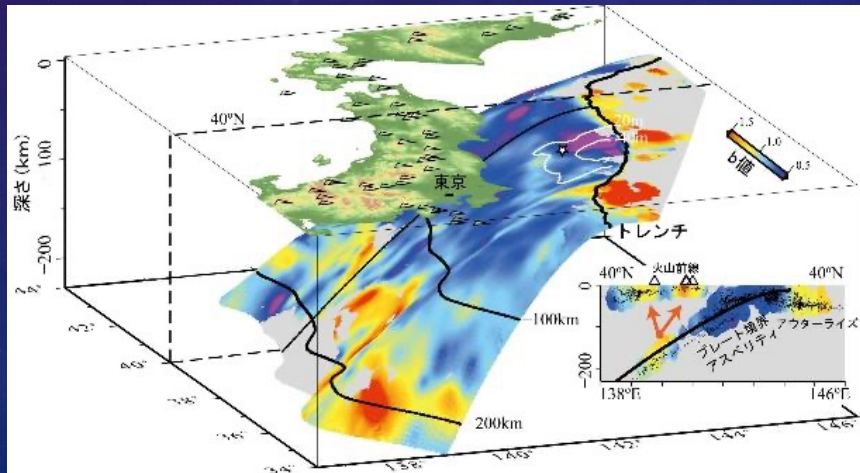
地震の物理
地震活動
地球内部構造



2016年熊本地震の動的破壊シミュレーション



マンテル構造と地震の関係



b値の3次元空間分布

$$\log_{10}N = a - bM$$

a:地震活動度の高さ

b大:小地震が大地震より
相対的に多い

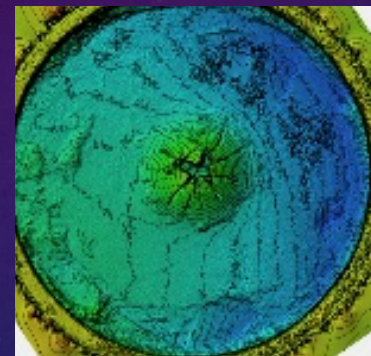
火山物理学・熱学

観測・調査・実験・数値解析をとおして火山や地熱活動の本質に迫る

映像(熱赤外・可視)



空振

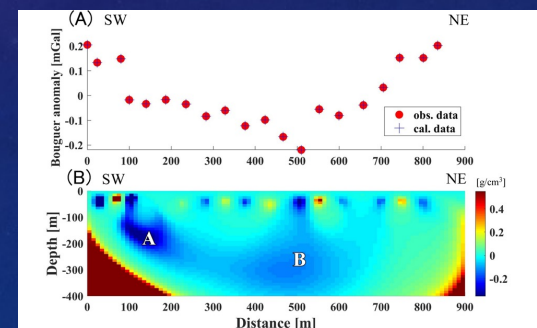


模型実験により、火山・地熱活動のメカニズムを探る

地震・地殻変動



電磁気



重力異常や重力偏差から地熱地帯の地下の状態を探る

T3課題研究のテーマ（今年度）

- [地震] 2021年2月と2022年3月の福島県沖地震の震源域におけるb値変化について
- [地震] 震源断層パラメーターがインフラソニック波の励起に与える影響について
- [測地] 地震時変形のモデル計算における球対称モデルと半無限一様モデルの比較:2011年東北地方太平洋沖地震を例に
- [活構造] 含水石英岩(メノウ)の高温高压変形実験:組織変化と力学特性
- [地震] 地震波干渉法による、2011年長野県北部地震震源域における東北地方太平洋沖地震前後の速度構造変化の推定
- [熱学] 阿蘇火山の傾斜データに対するタンクモデルを用いた降水補正
- [測地] 地表変位に伴う重力変化の地形効果:桜島火山マグマ溜まり膨張における数値計算例
- [地震] 火星の火震と内部構造の理解に向けて
- [測地] LaCoste型相対重力計の重力連続観測で検出されたトンガ噴火の気圧変動に伴う重力変化
- [熱学] GNSS観測から得られた余効変動時系列を用いた九州地方の粘弾性の推定

今年のT3課題研究発表会

日時: 2023年2月10日(金)午前10:30~午後16:00、場所: 理学部6号館201号室